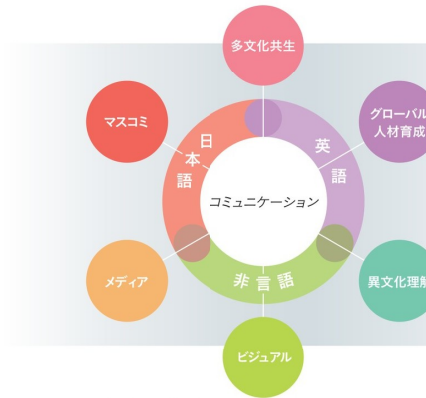


Department of Communication in Culture

コミュニケーション文化学科

Field of study 学びのフィールド



コミュニケーションツールとして

日本語・英語と非言語を

実践的に学び、

多文化共生社会を担う人材を育てる

Feature 学科の特徴

**日本語・英語の両方を学び
異文化交流に
貢献できる力を修得**

日本語だけでなく英語においても「話す」「聞く」「読む」「書く」という基本の4技能を高めると共に多様な背景を持つ人々に対する理解を深め、異文化交流を担う人材を育てます。

**自ら動いて学ぶ
「アクティブラーニング」を
重視**

例えば、大学周辺地域の魅力をアピールする番組制作を行ったり、方言を研究する先生と共に地方へ行き、現地の方々へインタビューなどの実地調査を行ったり、座学よりも現地に足を運ぶ学ぶスタイルを大切にしています。

**現代のメディアと
コミュニケーションに
ついて学ぶ**

本や新聞、テレビといったマスメディアがメディアの主流だった時代から、音声・映像を伴うリアルタイムの情報発信を個人が行える時代へと変化するなかで、多様なコミュニケーションの理解を深め、表現能力を磨いていきます。

コミュニケーション文化学科「卒業論文・卒業研究」タイトル(2022年度一部抜粋)

- 曖昧表現は手話においてどのように表現するのか
- SNS上での若者ことばと対話での若者ことばの使われ方の差異
- テレビコマーシャルにおける「無意識の偏見」：日本と他国の炎上CMにみる文化摩擦の比較
- アニメ映画作品から読み取る日米の謝罪行為の差異
- 日本の若者における韓国語との接触-日韓ミックス言語の認知度調査を通じて-
- 英語の複数形の使用における日本語の影響-「たち」と「諸」を例に-
- 日本の若者における韓国語との接触-日韓ミックス言語の認知度調査を通じて-
- Exploring the Human Nature and Psychology: The Appeals of Japanese Anime Detective Conan
- 日韓のガールズグループにおける歌詞の対照研究
- 企業・ブランドのロゴについて
- 方言LINEスタンプの使用実態

コミュニケーション文化学科
ホームページはこちら



言葉の壁を越え、
多文化共生社会の
担い手を育成。

Curriculum カリキュラムの概要

学びのステップ	1年次	2年次	3年次	4年次
総論	コミュニケーション文化概論 コミュニケーションの倫理 言語コミュニケーション論 非言語コミュニケーション論 日本語コミュニケーション論 英語コミュニケーション論 異文化コミュニケーション論 多文化社会論 マスコミ論 放送文化史		【コミュニケーション理論関係群】 語用論 社会言語学 メディア言語論 言語理解論 聴覚コミュニケーション論 視覚コミュニケーション論 【日本語コミュニケーション関係群】 対人コミュニケーション論 現代コミュニケーション論 コミュニケーション障害論 シンボル表現論 世代別コミュニケーション論 ジェンダー・コミュニケーション論 丁寧語・敬語研究	【英語コミュニケーション関係群】 国際コミュニケーション論 国際メディア論 異文化研究 言語社会研究(欧米) 言語社会研究(アジア) 世界若者事情 世界英語事情 世界教育事情 世界マスコミ事情
研究入門		コミュニケーション文化研究入門A コミュニケーション文化研究入門B コミュニケーション文化研究入門C コミュニケーション文化研究入門D コミュニケーション文化研究入門E コミュニケーション文化研究入門F	コミュニケーション文化特殊講義(コミュニケーション論) コミュニケーション文化特殊講義(日本語コミュニケーション) コミュニケーション文化特殊講義(英語コミュニケーション)	
基礎演習	日本語コミュニケーションスキル(会話) 英語コミュニケーションスキル(会話) Pick up		【日本語コミュニケーション関係群】 実践日本語(文章表現) 実践日本語(音声表現) 実践日本語(発声法) 実践日本語(敬語) 実践日本語(多読) 実践日本語(場面別運用) 実践日本語(グループディスカッション) 実践日本語(グループディスカッション) 実践日本語(調査法)	【英語コミュニケーション関係群】 実践英語(インターネット英語) 実践英語(アニメ・マンガ英語) 実践英語(コマーシャル英語) 実践英語(映画英語) 実践英語(料理・ファッション英語) 実践英語(スポーツ英語) 実践英語(多読)
文学部共通専修科目	【講義】 英語実用文法 レトリック概論 言語学概論 芸術論 造形論 色彩論 装いの心理学 化粧の心理学 図書館概論		実習 手話 点字 アナウンス Pick up	朗読 声優 インタビュー ナレーション プレゼンテーション
	【実習】 芸術芸能実習(茶道) 芸術芸能実習(華道) 芸術芸能実習(香道)		演習 コミュニケーション文化演習IA コミュニケーション文化演習IB	コミュニケーション文化演習IIA コミュニケーション文化演習IIB 卒業論文・卒業研究
		卒業論文	【講義】 演劇論 言語哲学	朗読法 情報文化史 色彩象徴論 図書・図書館史
			【演習】 情報サービス演習A	コミュニケーション心理学

※このカリキュラムは2023年度現在の教育課程に基づくものです。

Course model 履修モデル

幅広い将来の進路に合わせて、3つの履修モデルを設定しています。

<h3>英語コミュニケーション</h3> <p>英語のコミュニケーション能力を高め、グローバル人材を目指す</p> <p>【履修科目目録】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語コミュニケーション論 実践英語 異文化コミュニケーション論 世界英語事情 <p>【英語コミュニケーションスキル(会話)】を履修した学生の声 1年次に受講したこの授業で、プレゼンテーションを数多く行い、人前で話すことに緊張を感じなくなりました。英語の発音も上達し、自分から積極的に発言できるようになりました。</p>	<h3>日本語コミュニケーション</h3> <p>日本語コミュニケーション能力を磨き、マスメディアの世界を目指す</p> <p>【履修科目目録】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語コミュニケーション論 実践日本語 丁寧語・敬語研究 マスコミ論 <p>【アナウンス】を履修した学生の声 アナウンスと聞くとアナウンサーを想像されるかもしれませんが、この授業では司会者や客室乗務員、接客などにも必要な音声表現能力を、実践的に修得することができます。</p>	<h3>コミュニケーション理論</h3> <p>コミュニケーションを幅広く学び、多文化との共生を目指す</p> <p>【履修科目目録】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多文化社会論 手話 メディア言語論 点字 <p>【視覚コミュニケーション論】を履修した学生の声 画像や映像によって意味を伝達することの面白さを知ることができました。ふだんの生活の中より目にするお店のロゴマークなども、ヨーロッパの長い伝統にもとづいているという講義内容は驚きでした。</p>
--	--	---

Student's Voice 学生の声

相手の立場に立って、ものごとを考える。

現代社会のあらゆる場面で求められる

コミュニケーション能力を磨いています。

S.N.さん

コミュニケーション文化学科3年 千葉県 県立幕張総合高等学校出身

中学の頃から「周りの人と仲良くするにはどうすればいいのか」「部活でチームワークを発揮するには何が必要なんだろう」と、人と人との交流について漠然と考えていました。社会で「コミュニケーション能力」が重要視される時代にあり、あらゆるシーンで活かせるスキルを身に付けたいと思い、コミュニケーション文化学科を選びました。

現在は、ゼミで英語と日本語の第二言語習得について学んでおり、私たちが母語ではない言語をどのように習得していくのかを研究しています。また、そのほかにもシンボルやビクトグラムなどの非言語にも興味があるためそれらに関する授業も興味深く受講しています。

根本に「誰かのためになりたい」という思いがあり、卒業後は大学で学んだことを活かして、ホスピタリティが求められる職に就きたいと考えています。

3年次の時間割(例)

	月	火	水	木	金	土
1限	世帯別 コミュニケーション論 文化演習I B	コミュニケーション 文化演習II B				
2限	起業論				シンボル 表現論	
3限	総合科目 (生活と環境)			総合科目 (観光)	実践日本語 (発声法)	
4限	ファッション論	実践英語 (映画英語)		実践日本語 (敬語)	視覚 コミュニケーション論	
5限				キャンピングカード (CA)実習	コミュニケーション 文化特殊講義 日本語 コミュニケーション	

Pick up 授業紹介

少人数クラスで実践的な英語力を磨く

英語コミュニケーションスキル(会話)

ネバラ ジョン 教授【研究分野】英語教育

英語でプレゼンテーションを行う、長めの作文を書くなど、実践的な英語が使えるようになることを目標とする1年次必修の演習科目です。少人数クラスで、英語コミュニケーションのために必要な語彙、文法、発音などを身に付けます。言語スキルを上げるだけでなく、外国の文化を取り上げることで、異文化コミュニケーションに活かせる知識の習得も目指します。

多様な職種に求められるアナウンス能力を習得

アナウンス

渡部 英美 教授

【研究分野】放送番組論、アナウンス、インタビュー

コミュニケーション能力の一つとして注目される多角的な「アナウンス能力」を身に付ける授業です。リポーター・気象予報士・広報・アナウンサー・ナレーター・俳優(朗読者)・司会者・保育士(幼稚園教諭)・接客業(デパート販売員)・グランドスタッフの順に具体的なシーンを想定して、実践的に行います。

